

# 経営比較分析表

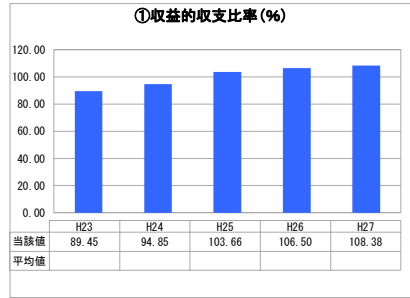
佐賀県 武雄市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cc3	
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	5.10	104.97	4,104

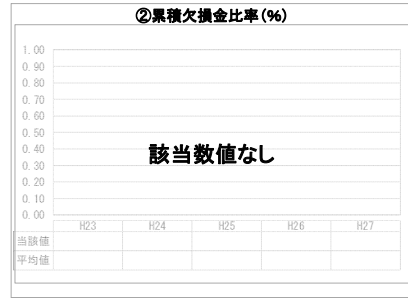
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
49,965	195.40	255.71
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
2,535	0.76	3,335.53

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
□	平成27年度全国平均

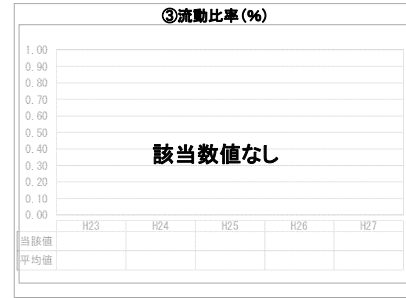
## 1. 経営の健全性・効率性



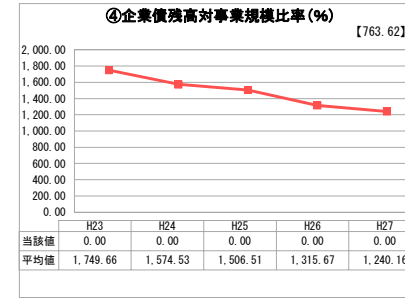
「単年度の収支」



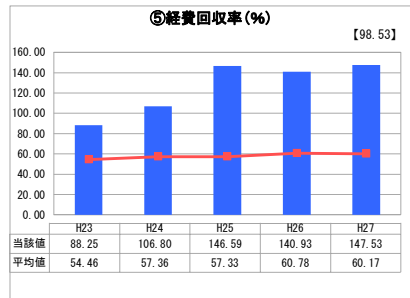
「累積欠損」



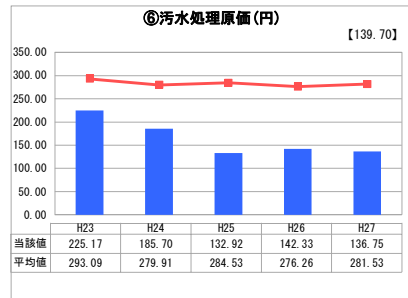
「支払能力」



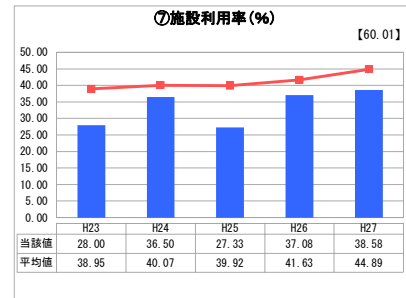
「債務残高」



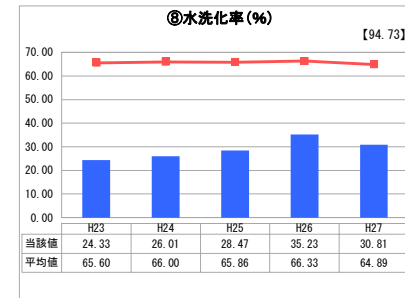
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

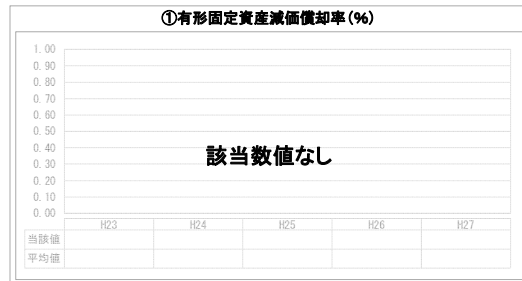


「施設の効率性」

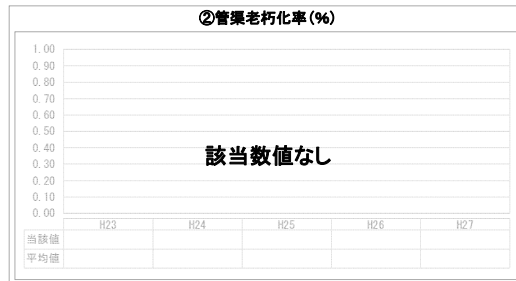


「使用料対象の捕捉」

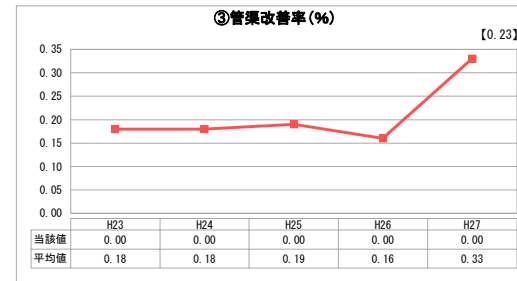
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率は約108%と単年度収支については黒字であり、経費回収率についても約147%と良好な状況にある。しかし、施設利用率及び水洗化率が類似平均と比較低い状況にあるため、引き続き接続率を上げる等経営改善を図っていく必要がある。

### 2. 老朽化の状況について

当市の公共下水道の供用開始は平成19年度からであり平成27年度現在では老朽化には至っていない。

### 全体総括

収益的収支比率や経費回収率が平均値より高く、汚水処理原価は低いことから健全な状況にあるが、水洗化率や施設利用率が低いことから未接続者が多い状況にあるといえる。当市は公共下水道事業が進捗している段階であり、今後供用区域を拡大するなかで、併せて接続率を高めていく必要がある。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成23年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。